

清熱穴

体内の熱を払うことを主な機能とするツボを、清熱穴と呼びます。

清熱穴は、主に四肢の肘と膝の下、顔面、上背部に位置し、手足の3つの陽経に属しています。四肢の肘と膝の下にある5つの俞穴、特に井穴と榮穴は、気が流れ出たり循環したりする場所であり、そのため体内の熱を払う機能を持つことが多いです。四肢の外側、頭部、顔面に位置する陽経のツボは、病原因子を散らし、清熱機能を持つことが多いです。

清熱穴は、熱を払い、火を払い、解毒し、血を冷ます機能を持っています。これらのツボは、発熱性疾患、咽頭痛、充血、耳鳴り、歯痛、便秘、赤痢、血熱など、様々な内熱症候群に主に適しています。また、咳、喘息、黄疸、嘔吐、下痢にも使用できます。

清熱穴を使用する際には、疾患に応じてツボを選択するだけでなく、併発する様々な症状に応じて適切な組み合わせを行う必要があります。

表解作用のあるツボの中には清熱作用を持つものもあり、臨床では併用することができます。熱邪が体内に侵入しているにもかかわらず解表が不十分な場合は、解表作用のあるツボを追加することで、表裏両方の症状を緩和する二重の効果が得られます。

発熱性疾患によるせん妄のある患者には、開竅作用と清熱作用のあるツボを追加する必要があります。

陰虚火過剰の患者には、陰を養い火を鎮めるツボを追加すべきです。

腫瘍など、局所的な瘀血を伴うことが多い場合には、活血し瘀血を取り除くツボを追加できます。

湿熱の患者には、湿を払い利尿を促すツボを追加すべきです。

清熱のツボは効果の幅が広く、その具体的な効能を明確に区別することは困難です。しかし、临床上の焦点の違いに基づいて、清熱解毒のツボ、清熱瀉火のツボ、清熱冷血のツボの3つに分類できます。

内熱症(裏熱)は主に実証症であり、治療には瀉法がよく用いられます。